



発行 高島市今津地域住民自治協議会
事務局 今津町中沼一丁目4番地1
今津東コミュニティセンター
(今津公民館)

TEL 090-4927-3222

メール info@imazu-jichikyo.org

ホームページ

<https://www.imazu-jichikyo.org/>



第15号

令和7年6月27日発行

7つの「まち」の実現をめざして

5月17日、今津東コミュニティセンター(今津公民館)で、令和7年度定期総会を開催しました。南深清水の桂田隆司さんを議長に選出し、5議案を審議いただき、全議案承認されました。

まちづくり計画推進プロジェクトチームリーダーでもある山口知之会長が、まちづくり計画基本構想である「湖のまち物語」を実現するために、優先する具体的な実施計画を報告しました。この計画を基礎として、7年度事業に取り組みます。

特に、基本計画である「街道復活～行き交う活気あるまち～」として、7つの項目に分けた「まち」を実現するために部会活動をすすめていきます。

総会では、貴重なご意見もいただき、これらを活かしながら取り組んでいきます。

また、本年度は2年の役員任期が終了し、令和9年度までを任期とする役員改選がおこなわれました。まちづくり計画を軌道にのせる重要な期間でもあることから、現役員全員が再任されました。



まちづくり基本計画の7項目は、

- ・人や物が行き交いつながる「まち」
- ・現代版街道の賑わいがある「まち」
- ・安全・安心で居心地の良い「まち」
- ・多様を受け入れる共生の「まち」
- ・自然と食、文化を活かす「まち」
- ・今津の力を最大限活かした学びの「まち」
- ・将来を担う人をはぐくむ「まち」

を掲げています。

今までプロジェクトチーム等で、各項目の「まち」のなかで、多くの構想を描いてきました。すべてをスタートさせることはできないため、まず何を優先して取り組んでいくのか、スケジュールもあわせて議論を重ねてきました。

その結果、実施計画として18項目を決定し、すでにすすめているものは評価しながら、新たに取り組む項目は、より実践的に取り組みます。

また、計画推進のためには、組織体制や多くの人が関わり、つながることが重要なポイントだと位置づけ、ともに活動していただける委員加入など、積極的に取り組んでいきます。





浜分「花しょうぶえん」 (2025.6.17)

基本構想「湖のまち物語」をともに!!

～ぐるぐるつながるまちづくり～

具体的な実施計画を一步ずつ着実に、スケジュール感をもって取り組むことが、描く「湖のまち物語」の実現につながります。

今津の将来につながる地域とともにある計画です。多くの人が関わり、つながることのできるものばかりです。

ぜひ一緒に! 一步ずつ実現させていきましょう。



現代版街道の賑わいがある「まち」

■ウォーカブル(歩きたくなる)でつながる通りの活性化

・街あるきで街道復活の戦略策定

■歴史・街道の再発見と賑わいを復活する物語づくり

・ウォーカブルを支える環境と景観づくり



多様を受け入れる共生の「まち」

■農と里、湖を基点とした新たな“ふるさと”今津のプロデュース

・ほどよい田舎と街、農を起点とした田舎暮らしなど、やりたいことができる応援体制



今津の力を最大限活かした学びの「まち」

■山と里山の力を身近に感じる体験型暮らしの提案

■生活拠点を移した人を起点にした「地域協力活動」の体制づくり

・地域とともに取り組む「地域おこし協力隊」



人や物が行き交いつながる「まち」

■通りとびわ湖を活かす仕掛けづくり

・今津壱番市の開催やびわ湖と今津港を活かす観光拠点づくり

■旧琵琶湖周航の歌資料館と通りの拠点づくり

・旧資料館の最大活用

・他団体とのコラボ企画の実施



安全・安心で居心地の良い「まち」

■災害時に慌てないまちづくり

■移住・定住につながる、今津の“売り”コンテンツの発信と具体的な対応方策の検討



自然と食、文化を活かす「まち」

■今津の誇れる特産品や今津らしい地産地消イメージを活かした地域プロモーション

■琵琶湖漁業を起点とした湖魚文化の発展的継承

・琵琶湖を活かす「地域おこし協力隊」の導入



将来を担う人をはぐくむ「まち」

■子どもまんなか社会の実現にむけ、ライフステージに応じた未来を応援する取り組みや地域とのつながりを強化

・「学び」を通して成長につながる支援や活動支援、地域での見守り活動など。

計画実行にあたって

■計画推進のための組織体制の確立

■ともに活動する仲間(委員)を増員

・第一次目標を100名に。



伝言板



今年も夏祭りは“やっさ今津!!”

8月1日(金)16:00～高島市民会館前周辺で開催!! お楽しみに

知ってる 街ネタ



今津周遊基地(今津サンブリッジホテル東側琵琶湖岸)で、今津中学校、今津東・北小学校と地域が連携してハマヒルガオの保全活動に取り組んでいます。

防災・地域連携部会の今津の自然を学ぶ事業として、環境を守るいまづの会、今津民生委員児童委員協議会、今津赤十字奉仕団、北浜区、南新保区、カームタウン区、今津サンブリッジホテルなど企業団体と連携し、ともに活動しています。

本活動の周知と広く協力をいただくため、啓発看板をこのほど設置しました。

残念ながら6月に計画していた保全活動が雨天のため中止となりましたが、希少種といわれる琵琶湖のハマヒルガオが、いつまでも咲き続けてほしいものです。周遊基地から南へ、地元の皆さんが日ごろ湖岸清掃をされ、一面にハマヒルガオが咲いている景色は、今津の残していきたい景色のひとつです。



ハマヒルガオ保全 啓発看板を設置

表面

裏面



今津北小学校でゴミの環境学習



ゴミの分別ってなぜするの?~

6月10日、ゴミの分別を考え、ゴミカレンダーの見方や分別をゲームで体験する学習支援をおこないました。ゴミの現物も見ながら分別を考え「これ、どこに入れるのかわからんわ~」と。

最後にタブレットで、高島市ごみ分別辞典を調べ納得したようすでした。



琵琶湖周航の歌の会

総会 さらなる充実を

5月18日、総会が開かれました。

本年度計画は、琵琶湖周航の歌継承事業や今津中学校での歌伝承事業、琵琶湖周航の歌の歌碑巡りなど8項目をあげ、全て承認されました。

なかでも歌継承事業として、うたつたコンサートやうたつたえロビーコンサートを高島市と共催したり、歌発祥の地として、広報宣伝活動にも力をいれ、会員の拡充など、取り組んでいくこと決めました。



ロビーコンサート

高島市民会館で「うたつたえロビーコンサート」を3月30日、~Lefa~を招き開かれました。

ロビーは約100名が参加し、最後は全員で琵琶湖周航の歌を合唱。ひとつになって盛り上がった会場でした。

いろいろな機会に歌われる周航の歌。滋賀県民の心の歌を起点に、さらに今津が盛り上がれば...

新たなお店も登場!!

今津壱番市



地元のいいもの集めて～産業・観光部会の特産市開催事業「今津壱番市」を6月1日開催しました。

会場は、旧琵琶湖周航の歌資料館・西福寺横の琵琶湖周航通り。

13店舗が自慢の品を並べ、訪れた方々とも会話がはずんでいました。通りには「街中美化運動はなのみち」のメンバーが管理するハナアオイなど、見事に咲き誇り、華やかないい雰囲気の特産市となりました。

時おり細かな雨があたる曇り空でしたが、地元の方や竹生島を訪れる観光客、ビワイチで周遊する自転車グループなどで賑わいました。

子どもたち限定のバルーンアートや木工ワークショップもあり、楽しそうにチャレンジしていました。

次回は、よりバージョンアップして10月に開催予定です。



「琵琶湖周航の歌の会」では、オリジナルグッズをプレゼント



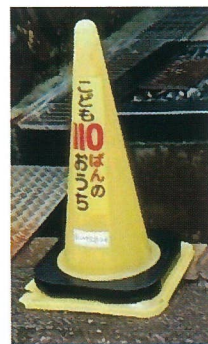
子ども110番啓発事業

何かあったらすぐ来るんやで～



子ども110番のいえ同行見守り活動として、防災・地域連携部会では、今津東・北小学校の一斉下校時の4月16日、同行しながら「子ども110番の「いえ」や「お店」など、子どもたちと訪問。声かけをしながら児童とつなぐ活動をおこないました。今津青少年育成学区民会議や今津民生委員児童委員協議会、はなまる広場などとも連携した活動となりました。

「子どもたちも、普段からお世話になっているお店もあるけれど、何かあったも初めてでは飛び込んでいけない。いい機会だった」と毎日見守るスクールガードの方。少しでも安全につながればと活動します。



編集後記



「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ2025」が、44年ぶりに滋賀県で開催されます。高島市ではウエイトリフティングやソフトボール、銃剣道などが行われます。次の機会は無いですので、感動を味わいにぜひ観戦したいと思っています。